

社会資本総合整備計画 防災・安全交付金

令和05年03月27日

計画の名称	北九州港における安全で利用しやすい港づくり(防災・安全)(第2期計画)											
計画の期間	令和04年度 ~ 令和06年度 (3年間)										重点配分対象の該当	
交付対象	北九州市											
計画の目標	港湾施設に適切な改良を加えることで、施設の安全性や利便性向上を図り、安全で利用しやすい港づくりを形成する。											
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	1,434	A	1,434	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0 %

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R4当初	R5末	R6末
1	物揚場利用者の安全性や利便性向上を図るため、改良を行う(L=135m)。 物揚場の改良延長135mを目標とする。 物揚場の改良延長=R4d当初からR6d末までの改良延長	0m	68m	135m
2	操船の安全性確保や港内静穏度を確保するため、防波堤の改良を行う(L=40m)。 防波堤の改良延長40mを目標とする。 防波堤の改良延長=R4d当初からR6d末までの改良延長	0m	40m	40m
3	岸壁利用者の安全性確保のため、エプロンの改良を行う(L=370m)。 岸壁の改良延長370mを目標とする。 岸壁の改良延長=R4d当初からR6d当初までの改良延長	0m	370m	370m
4	航行の安全性確保や利便性向上のため、航路拡幅・埋没浚渫を行う(V=5,300m <sup>3</sup> )。 航路拡幅・埋没浚渫による浚渫土量5,300m <sup>3</sup> を目標とする。 航路拡幅・埋没浚渫量=R4d当初からR6d末までの浚渫土量	0m <sup>3</sup>	5300m <sup>3</sup>	5300m <sup>3</sup>
5	ふ頭の利便性向上のため、保安設備の改良を行う(L=3,400m)。 保安設備の改良延長3,400mを目標とする。 保安設備の改良延長=R4d当初からR6d末までの改良延長	0m	2200m	3400m
6	フェリー乗降の安全性・利便性向上のため、可動橋の改良を行う(N=3基(L=89m))。 可動橋の改良3基(L=89m)を目標とする。 可動橋の改良延長=R5d当初からR6d末までの改良施設数	0基	0基	3基

備考等	個別施設計画を含む	<input type="radio"/>	国土強靱化を含む	<input type="radio"/>	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	<input type="checkbox"/>	避難行動要支援者名簿の提供	<input type="checkbox"/>
国土強靱化地域計画名：北九州市国土強靱化地域計画関連する基幹事業：全基幹事業																

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												R04	R05	R06	R07	R08			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
港湾事業	A02-001	港湾	一般	北九州市	直接	北九州市	拠点	改良	松ヶ島物揚場(-3m)(改良)	物揚場改良 L=17m	北九州港・松ヶ島地区						135	策定済	
		A1-1																	
	A02-002	港湾	一般	北九州市	直接	北九州市	拠点	改良	若松船だまり東側物揚場(-2.5m)(改良)	物揚場改良 L=20m	北九州市港・若松地区						179	策定済	
		A1-2																	
	A02-003	港湾	一般	北九州市	直接	北九州市	拠点	改良	若松船だまり西側物揚場(-2.5m)(改良)	物揚場改良 L=48m	北九州港・若松地区						38	策定済	
		A1-3																	
	A02-004	港湾	一般	北九州市	直接	北九州市	拠点	改良	若松船だまり防波堤(改良)	防波堤改良 L=40m	北九州港・若松地区						54	策定済	
		A1-4																	
	A02-005	港湾	一般	北九州市	直接	北九州市	拠点	改良	北湊2号物揚場(-3.5m)(改良)	物揚場改良 L=50m	北九州港・北湊地区						375	策定済	
		A1-5																	
	A02-006	港湾	一般	北九州市	直接	北九州市	拠点	改良	太刀浦31~34号岸壁(-10m)(改良)	岸壁改良 L=370m	北九州港・太刀浦地区						48	策定済	
		A1-6																	

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												R04	R05	R06	R07	R08				
一体的に実施することにより期待される効果																				
備考																				
港湾事業	A02-007	港湾	一般	北九州市	直接	北九州市	拠点	改良	奥洞海航路(-8.5m)(改良)	浚渫1,200m3	北九州港・洞海地区						20		策定済	
	A1-7																			
	A02-008	港湾	一般	北九州市	直接	北九州市	拠点	改良	奥洞海航路(-8.5m)(改良) (拡幅)(2工区)	浚渫V=4,100m3	北九州港・洞海地区						183		策定済	
	A1-8																			
	A02-009	港湾	一般	北九州市	直接	北九州市	拠点	改良	保安設備(改良)	赤外線・振動センサー改良 L=3,400m	北九州港・太刀浦地区ほか						252		策定済	
	A1-9																			
	A02-010	港湾	一般	北九州市	直接	北九州市	拠点	改良	新門司北地区可動橋(改良)	可動橋改良 3基(L=89m)	北九州港・新門司北地区						150		策定済	
	A1-10																			
											小計							1,434		
												合計						1,434		

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	R04				
配分額 (a)	108				
計画別流用増 減額 (b)	0				
交付額 (c=a+b)	108				
前年度からの繰越額 (d)	0				
支払済額 (e)	42				
翌年度繰越額 (f)	66				
うち未契約繰越額 (g)	22				
不用額 (h = c+d-e-f)	0				
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	20.37				
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由	作業船の手配に不測の日数を要したため				